



令和3年度学校だより

五福校 ごふくこう

6月24日

No47

文責 本田

学校評議員の皆様へ学校の様子をみていただきました

今年度も昨年度から引き続き、学校評議員として高畠さん（交通安全協会五福支部長）市原さん（3町内民生児童委員）稲田さん（まちづくりの会）井手さん（元PTA会長）をお願いしています。学校評議員の皆様には定期的に学校の様子を見てもらって、それぞれのお立場からご意見をいただくこととしています。学校としては、いただいた意見を学校経営に生かしていきます。今日は子どもたちの授業の様子を見てもらって協議をしました。子どもたちは落ち着いているということです。学校外でもルールを守って行動できているとのことでした。コロナ禍の中で音楽やプールなどいろいろ工夫して活動しているということも言っていただきました。一番話題に上がったのは「子どもたちにはぜひ五福の歴史や良さを知ってもらって五福のまちを好きになって欲しい」ということです。このことは今学校でも力を入れて取り組もうとしていることであり、これからも学校評議員さんや地域の方のお力をお借りしながらしっかりと進めていきたいと思っております。



校長室で意見交換をしました。

音楽室で先日校友会からいただいたカホンも見てもらいました。



県立大の学生の飯村研究室の皆さんから3週連続でプログラミングを学びます・・・あおぞら

今日は熊本県立大学の飯村研究室（知能情報学研究室）の学生の皆さんにあおぞら学級の子どもたちを対象にプログラミングを教えていただきました。飯村伊智郎先生をはじめ11人の研究室の学生さんには大変お世話になりました。現在、本校では地域の方、大学、行政、企業などたくさんの方々の力をお借りして開かれた学校づくりを目指しています。今日あおぞらの子どもたちは学生のマンツーマンの熱い指導に終始笑顔で盛り上がっていました。2～3学期には高学年の理科で出てくるプログラミング制御の教材でも来ていただくよう予定しています。



まずは、いろいろな人とお話しして写真を撮るビンゴゲームから



スフィロボルトという丸いロボットを動かしました。

